

なんダイヤ!?

What is this?

春号
Spring 2013



花時4月15日は「針神社」の例祭日です。「はまさか針」の創始者・市原惣兵衛の偉業に感謝して墓前において供養が行われ、後刻、宇都野神社の境内にある「針神社」で神事が執り行われます。「針神社」の縁起は不詳ですが、明治26年4月に町内の勝願寺から宇都野神社に移され、境内社として祀られました。宮司である中島理之助氏の「受持各村神社要件記録」には、「当村針神社建立ノ記」の記述があり、明治26年4月15日に正遷宮したことや、**旧3月15日**

を祭日とすること、お社の新築や修繕などは針師連中で執り行うことなどが記されています。祭神は、火を司る神・火牟須毘神(ほむすびのかみ)。金工・鍛冶の神・天目一箇神(あめのまひとつのかみ)。鉋業・鍛冶など金属に関する技工を守護する神・金山彦乃神(かなやまひこのかみ)とされています。

「はまさか針」創始より約180年。現在、針に携わっているのは弊社を含め2社のみとなりましたが、縫い針の技術を文具、工具、レコード針などへ改良し、地場産業として地域の経済発展に貢献しています。今年で弊社は**55期**を迎え、記念すべき年となります。

新ブランド「プラスアス」の立ち上げや**放熱素材の開発**など、市原惣兵衛の起業精神を肝に据え、**新たな事業**に取り組んで行きます。さらに、私たちは時代の要請に即応し、**伝統を守りながら進化**を続け、社会に貢献していく所存です。

営業が綴る、日々のできごと。

どこかで だれかが・・・

営業

本部のお仕事日記

Vol.3
アシスタントチーム / 谷 朋子

「ベリーズ」って皆さんご存知でしょうか？

メキシコ、グアテマラにまたがるユカタン半島の付け根に位置する国の名前です。この春入社3年目を迎える私は、レコードをお聴きになる海外のお客さまからのお問い合わせ窓口を担当しています。月平均250件いただくお問い合わせの中で、つい最近問い合わせをしてくださったのが「カリブ海の宝石」と呼ばれる美しい国、ベリーズの方だったのです。私たちの針が誰かの至福のひとつの一端を担っているのかと思うと、なんだか堪らなく嬉しくなっていました。ただ「お礼」を伝えたい、といった嬉しいメールも沢山いただきます。

商品を注文し、お金を払い、受けとる。

その後企業に対してお礼のメールを送るなんて、入社するまではそんな方がいらっしゃるなんて知りませんでした。私の密かな野望は、今はまだ私ひとりの喜びとなっている皆さまのあたたかいお気持ちを、製造ならび弊社の方にお伝えすることです。皆さん、しばしお待ちくださいませ★

製造部の皆さん、待っててくださいね。



社長の独り言 かずやんの Wonder Land!

50歳を目前にして、青臭いことに固執するかと思えば、やけに人生の残り時間に思いを馳せたりしております。そんなしがない三代目社長の、まだまだ不惑な真情を思うに任せて書いてみようかと思っております。

春まだ浅き頃、神戸の長寿ラジオ番組のDJであり、普段から親しいA社長の記念番組収録を兼ねたライブに出掛けました。会場である夙川のライブハウスはオーバー 60の面々で満席状態。ミュージシャンもほぼ同世代であり、カントリーとブルーグラスといった比較的静かなジャンルとは思えない、情熱と興奮のルツボに巻き込まれました。普段は社長や先生であっても、ステージ上では皆平等。利害関係のない純粋な繋がりのおかげがえなさや本音当日までの道程を思い、演奏以上に感慨深く感動しました。再生音楽に携わりながら言うのもなんですが、やっぱり生(なま)音こそが人の心の琴線を描きさるなあと再認識した次第です。

ええとこ 浜坂

Hamasaka

第3回 山岳図書4,800冊を所蔵！
“加藤文太郎記念図書館”

大正から昭和初期に活躍した、浜坂出身の登山家・加藤文太郎を顕彰して1994年10月に開館した図書館。味原川沿いに観音山と向い合う様に建っています。文太郎が駆け巡った山々をイメージした外観や、階段の壁、書架のサインなど細部にわたって山にこだわったデザインになっています。

1階は一般図書83,000冊を配架。2階は加藤文太郎の遺品や資料を展示し、貴重な山岳図書4,800冊を所蔵しています。この山岳図書はほとんどが全国の山の愛好家から寄贈された貴重な本です。新田次郎著「孤高の人」の主人公としても有名な加藤文太郎を慕って全国から山の愛好家が訪れています。



Vol.3

研究

セクションの お仕事

放熱材とは？

今回は、製品化に向けて研究を進めている放熱材についての説明をします。放熱材とは、電子部品等に使われているもので、作動する際に発生する熱を放熱し、部品のダメージを防ぐことを目的としています。部品が熱を発生し、その周辺機器が熱を持つと故障の大きな要因になるので、熱対策は部品の設計者にとって大変な課題となっています。

放熱材には、熱が伝わりやすいアルミニウムや銅などの金属を材料として作られているものが一般的です。近年では電子機器の高機能化、小型化が進んでおりますが、現状の放熱材では製品の小型化、薄型化、加工形状の制限などの課題に対応が難しくなっているため、より熱伝導性に優れ、軽量で薄い小型という特徴を持つ放熱材の要求が高まっております。

このような市場の要求に応えるため、研究開発を行い、ダイヤモンドが持つ優れた熱伝導性にいち早く着目しました。その上で、弊社独自のめっき技術を加味して、より薄膜化・小型化・様々な形への適応が可能となりました。ハイブリッド車をはじめ、高速車両の制御機器やスーパーコンピューターなどに採用されるべく製品化へ向けたこの技術の研究を日夜行っています。



製品化されるようがんばります！
(山本 晋也)

PHOTO ALBUM



本社の中庭にある1本の桜。18年前に故中村芳郎相談役の引退記念として植えられたものです。昨年は、見る人に覆い被さるような見事に咲き誇りました。

おやっ

編集後記

山陰の冬は、空も海も山も「重い」の一言に尽きます。雪消と共に春を告げてくれるものに、ネコヤナギ、ふきのとう、ホタルイカなどがあります。長い間眠っていた山々も次第に目を覚まし、森羅万象が一気に活動を始めます。1年で最も活気のある季節に弊社の第55期が始まります。スタートダッシュで、この1年を駆け抜けたいものですね。

発行 JICO 日本精機宝玉石工業株式会社 NIPPON PRECISION JEWEL INDUSTRY CO., LTD.

[本社/工場] 〒669-6701 兵庫県美方郡新温泉町芦屋100番地 TEL: 0796-82-3171(代表) FAX: 0796-82-4110

[営業本部] 〒541-0054 大阪市中央区南本町1-3-9サンコービル8階 TEL: 06-6264-1200(代表) FAX: 06-6271-1260

http://www.jico.co.jp

●このフリーペーパーに関するお問い合わせ先：経営管理室 新古まで ●WEB等への無断転載・転用はお断りします。

なんダイヤ!?

What is this?

POINT お客様の用途に合わせて

加工部品への接触(測定)部分は、ダイヤモンド5種類、焼結ダイヤモンド2種類、超硬2種類を標準装備しています。また、形状もお客様の希望に合わせてお選びいただけます。加工精度は1μmまで可能で、受注から出荷まで最短1週間、1本単位で製造しています。

CG/下雅意喜美子

POINT 一貫生産

シャンク(合金)や治具を含め、完成品まで一貫生産しています。設計変更、納期変更など迅速に対応できます。

CG主任/奥充男

POINT オーダーメイド

シャンクは3種類の常時在庫のステンレスの中から選べいただき、1本単位で生産可能です。高精度、長寿命、低価格設定を目指し、お客様の期待に沿えるよう努力しています。

CG/堀江信史

"handmade in Japan" のJICO製品ガイド

JICOの技術 1 測る

ゲージコンタクト

ゲージコンタクト(測定子)は、研削盤を用いた量産加工では無くしてはならない計測ツールの1つです。弊社のゲージコンタクト製造の歴史は長く、現在は国内で1、2を競う企業へと発展。またゲージコンタクト先端の接触部分は、初期のサファイヤや超硬から、ダイヤモンドやPCDと呼ばれる人工ダイヤとなっています。近年は小型(微小)化、高精密度が要求され、ミクロンの単位にチャレンジしています。

JICOの技術 2 整える

ドレッサ

ドレッサとは、砥石の表面を整形および目立てをして、砥石の性能を再生させるダイヤモンド工具です。ドレッサには、天然ダイヤモンドを使用しており、八面体、十二面体の中でも純度のよい高品質の原石を職人の手と目で一つずつ選び分けながら、製造をしています。現在は角錐研磨ドレッサ、円錐研磨ドレッサ、単石ドレッサを製造しています。

POINT 研磨方向を見極める

地球上でもっとも硬い物質であるダイヤモンドの性質を利用したものが弊社のダイヤモンド工具なのですが、実はダイヤモンドには結晶の方位によって柔らかい(弱い)部分と硬い部分があり、その結晶方位を見極めて加工することが私たちの最も重要な技の一つです。

CG/浜田幸子

POINT シャンクの材質・径

シャンク(合金)や治具を含め、完成品まで一貫生産しています。小ロットからのご注文に対応させていただきます。シャンクの材質もステンレスやスチールなど、径も可能な限りお客様のご要望にお応えいたします。

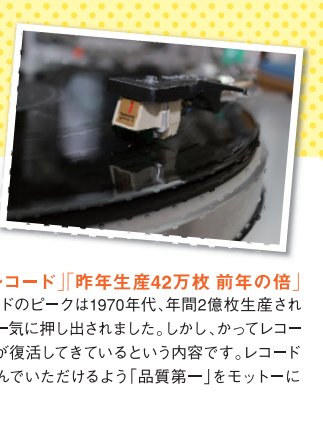
CG/中村匡志

JICOの技術 3 奏でる

レコード針

弊社は、55年間にわたって、2200種類のレコード針を世界中に発信しており、レコード文化を守ることが弊社の使命だと考えています。現在のデジタルな音に味気なさや、疑問をもつ人々が増えてきているようです。2013年1月18日付け「東京新聞」に「臨場感 やっぱりレコード」「昨年生産42万枚 前年の倍」という見出しの記事が掲載されていました。概略は、レコードのピークは1970年代、年間2億枚生産されていましたが、82年には雑音のないCDが登場し、市場が一気に押し出されました。しかし、かつてレコードに親しみ経済的に余裕のできた団塊世代を中心に人気が復活してきているという内容です。レコードファンが復活すればレコード針も復活します。お客様に喜んでいただけるよう「品質第一」をモットーに頑張ります。

STY/諸道菊代



JICOの技術 4 削る

ダイヤモンドバー

JICOではシャンク(軸)の製作、ダイヤモンドの電着、一部のパッケージまで社内生産しています。お客様からの様々なご要望に対応するため、電着用の天然ダイヤ、人工ダイヤ、CBNを常時27種類在庫しています。包装する際そのまま店頭に出るものも沢山あるので、キズはないか、汚れないかなど細心の注意を払い、お客様の元に届けています。

DD副主任/谷口貴子

JICOの技術 5 拭く

レンスクリナー

CD、DVDなど様々な光学式ピックアップレンズを生産しています。クリーナーにより求められる規格が異なるので、最適なブラシ素材、ブラシ植毛位置、クリーニングなど様々な製品を提案、短納期・増量生産に対応しています。ホコリを苦手とするCLEは、4S活動でMVPを頂いており、日々の活動が良いモノづくりにつながっていると思います。

CLE主任/宮脇ましの

全員合格!

2012年12月13日ダイヤモンドセレクション社内試験が行われ、受験した5名全員が高得点で合格しました。良いダイヤを選ぶことは、より良い品質を確保するための第一歩です。皆さんの活躍に期待をしています。そこで、試験に合格した皆さんに3つの質問をぶつけてみました。 ※5名の社員の名札には「ライセンスシール」が貼られています。

Q1 これまで見て来たダイヤと違い、試験を行った。ダイヤは同じ形状の物は二つないので、表面の状態と内部の状態を慎重にルーペで見て判断しました。判断の難しい物もあったが、それなりに見極められたと思います。

Q2 6.0クリスタルが率直な感想ですが、任命書シールを渡されて、これまでの苦勞が報われたと嬉しくなりました。

Q3 満点ではなかったが、ダイヤの特性が見極められるよう、今後勉強します。また、他の人にも教えられるよう考えながら見て行きます。

尾崎 了典さん

Q1 普段から試験より小さなダイヤを見て、良品と不良とわけて、音の不良石から良品として使用したので、試験に落ちたら、今まで自分がして来た事、何? ... となってしまうので、とてもプレッシャーでした。今回はヒビの有無を見る 試験だったので、昨年の試験より見やすかったです。

Q2 満点と聞いて嬉しかった。今まで自分がしてきた事は間違えた人だと思って、ホッとしました。それまで痛かった胃もスッキリしました。一番嬉しいのは、給料が増える事です!!

Q3 今まで通りやるだけです。原石が前より質が悪くなっているのが、大変ですが、少しでも多く良品が取れたらいいな。

山中 春香さん

Q1 特に難しくなかった。

Q2 満点と聞いて、自分には難しかった。

Q3 やるようになる。

中村 匡志さん

Q1 原石のダイヤもあれば、電着のダイヤもあれば、どっちも出るから不安だ。

Q2 自分も、まだ正社員になって1年半なので、愛着がない。

Q3 これから勉強して、ダイヤを見極められるように頑張りたいです。

山本 佳代さん

Q1 前回は5問と文章、今回は10問と図の線書き入れという風に内容が違ったので新鮮でした。ただ10問という事で問題数が減った分、見るダイヤも減る、という点では難しさを感じました。

Q2 正直な所、判断に苦しむダイヤが2つほどあり、その結果を言われたため、それが正解だと知り、あれ、よかったんだと思いました。全体の感想は全員合格には、大変驚きました。

Q3 音が残っていたダイヤを再セレクションして、思い出す事は今のダイヤはしっかり見ておかないと今後にはよくないと思う事があります。全てがそうであるとは限らず、それでも セレクションは大変な事なので頑張りたいです。

宮脇 梓さん

知的資産 経営報告書 プロジェクト

「知的資産」とは、財務諸表に記載されている資産以外の無形の資産です。企業における人材、技術、技能、知的財産(特許・ブランドなど)、組織力、経営理念、顧客とのネットワークなど、目に見えない経営資源の総称を意味します。「知的資産経営報告書」は、目に見えない経営資源(非財務情報)を、目に見える形で分かりやすく伝え、企業の将来性について認識の共有化を図ることを目的に作成する書類です。弊社では2009年からこのプロジェクトに取り組み、将来の経営戦略や事業計画などを記載した「知的資産経営報告書2010」をまとめました。3年を経過した今日、この間の成果や将来の計画などを再検討するため、第2次のプロジェクトチームを結成いたしました。これらの事業には公益財団法人ひょうご産業活性化センター、中小企業診断士青木宏人先生のご支援ご指導をいただいております。

前回、前田課長をリーダーとして2010年版知的資産経営報告書を作成して、はや2年半。今回、奥主任をリーダーとし、安藤さん、城戸さん、谷口さん、丸谷さんのメンバーを加えて「第2次知的資産経営報告書の作成プロジェクト」がスタートしています。通常業務と並行して報告書を作成することは、多大なる苦勞が伴いますが、そこはJICO魂! 妥協は許されません! 特に、報告書作成2回目となる奥主任からは、前田越えの目標を課しています! (笑)本年度の社員研修会では、メンバーによる魂のこもった報告書のプレゼンがご披露できるでしょう! みなさん、お楽しみに!

戦略ブレイン 代表 (中小企業診断士) 青木 宏人

部門STAFFのオモイ。

品質管理と環境活動への推進 ISO事務局

ISO事務局では、品質管理と環境活動への推進を行っています。春は、前年度のまとめと新年度の目標設定を行うので、マニュアルを片手に1年が一番忙しい季節となります。審査対策ではなく、JICOにとって必要なことやプラスになることは何かということを考えながら取り組んでいきたいと考えています。ISOが社内へ浸透し、活用が自然と機能すれば良いな、と思っています。

今年の目標は!

うわさの JICO

品質・納期ともに満足です!

ダイバ株式会社 和泉工場 製造技術部 製造技術課 治工具係 三宅 大輔 様

JICOさんとは、10年以上のお付き合いになります。ゲージコンタクトやゼロセットを使用しています。他社が天然ダイヤから人工ダイヤへ切り替えていくなか、JICOさんは天然ダイヤにこだわりの、安定的に納品していただいています。特に納期は全く遅れたことがなく絶対的な信頼をおいています。

JICOを支える! 人々

JICO We Success Members

岡本 啓一 OKAMOTO Hirotaka CGグループ所属 勤続年数45年

昭和42年に入社し、今年46年目を迎えました。当時はレコード針の最盛期でカンチレバーなどの金属加工を担当していた。仕事は忙しかったが、今でも覚えています。ダイモンドドレッサの担当後、現在ゲージコンタクトの二次加工を行っています。振り返ると、以前は工作部があつて、振子返るなど、以前は機械を使用して、先輩たちに指導を受けながら、治工具などを製作していました。難しい仕事でしたが、今ではとても楽しい思い出となっています。お客様との信頼関係を大切に、きっちりとした良い品物を届けることを第一に考えています。

CLEレンスクリナー部門で生産作業を担当しています。ディスクに傷、汚れ、ゴミなどが付着していないかどうか慎重に作業を行っています。この部門に入ってから3年が経とうとしていますが、判断できないことがまだ多くあり、上司に尋ねながら勉強しています。お客様に満足いただけるよう、部門全員で力を合わせて日々努力しています。

中村 ちあき NAKAMURA Chieki CLEグループ所属 勤続年数3年